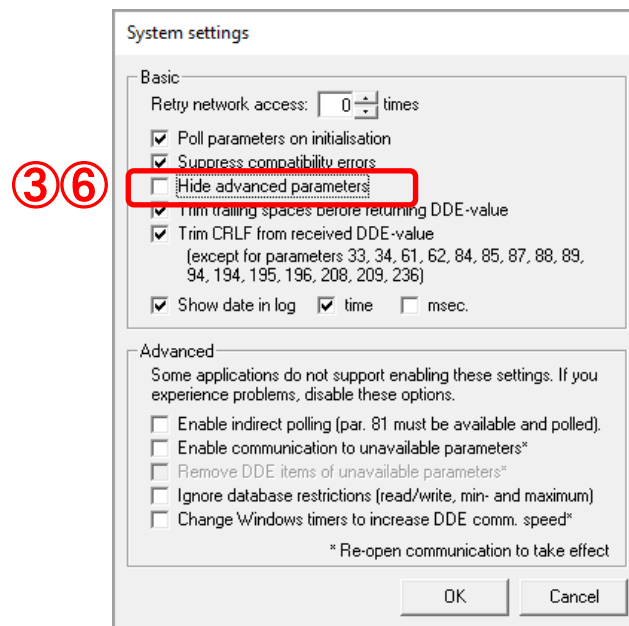
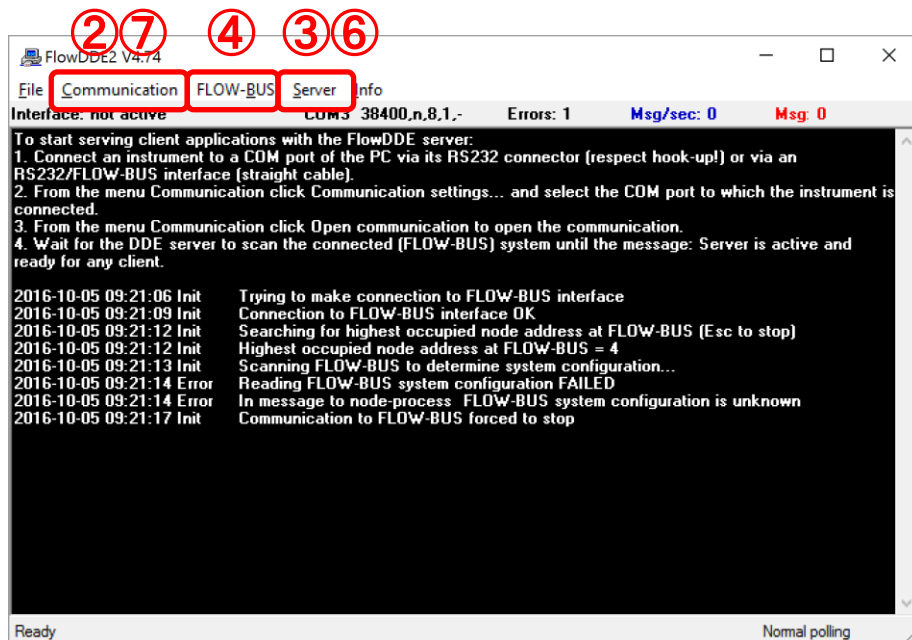


アナログ設定入力優先の機器をデジタル通信でご利用頂く場合のパラメータ変更手順

※この設定は、製品ラベルに“MBC3”と記載された機種(MBC3 PCボード搭載)の場合に有効です。これ以外の機種では、内部のジャンパー設定変更が必要となる場合がございます。

1. 機器にデジタル通信ケーブルを接続し、電源ONにします。
2. FLOW-DDEを起動し、Communication > Open communicationで通信開始します。
3. Server > Settingsを選択してSystem settings画面を表示させ、Hide advanced parametersのチェックを外します。
4. FLOW-BUS > Test FLOW-BUS and DDEでTest from FlowDDE(2)画面を表示させます。
※下線部はFlowDDE使用時FlowDDE、FlowDDE-2nd使用時FlowDDE2となります
5. 次ページの手順に従い、IO statusを”15”に書き換えます。
6. Server > Settingsを選択してSystem settings画面を表示させ、Hide advanced parametersに再度チェックを入れます。
7. Communication > Close communicationで通信終了させます。制御モード“Analog input”, “Bus/RS232”, “RS232”の状態では電源OFF/ONすると“Bus/RS232”(デジタル設定)で起動します。



⑤パラメータ(7: Initreset, 86: IO status)の書き換え

1. プルダウンからParameter=7: Initresetを選択、または枠内に数字の“7”を入力し、Write value=64を入力してWriteボタンを押して書きます。
2. 同様に、パラメータ86: IO statusに15を書きます。
3. パラメータ86を選択してReadボタンを押して読み込み、Read valueが15に変更されていることを確認します。
4. パラメータ7: Initresetに82を書きます。
5. パラメータ7: Initresetを読み込み、Read valueが82に変更されていることを確認します。

Channel	Parameter	F5	Read value	Write value	F6
Ch: 1, CORIFM, node 4, process 1	7: Initreset	Read		64	Write
Ch: 1, CORIFM, node 4, process 1	86: IO status	Read	15	15	Write
Ch: 1, CORIFM, node 4, process 1	86: IO status	Read	15		Write
Ch: 1, CORIFM, node 4, process 1	7: Initreset	Read		82	Write
Ch: 1, CORIFM, node 4, process 1	7: Initreset	Read	82		Write

Channel	Parameter	F7	Read value	Write value	F8
Ch: 1, CORIFM, node 4, process 1	0: poll parameters	Read	0		Write

※ MBC3 PCボードの機種の場合、IO status 15でBus/RS232、同79でAnalog inputで起動します。これ以前のPCボード搭載機種では、IO status 15で内部のジャンパー設定に従い、同11で前回設定のモードで起動します。
※Valve close, Valve fully open, Control idle等、再起動後もモードが変わらないものがございます。詳細は取扱説明書9.17.023 “Operational instructions for digital Multibus Mass Flow / Pressure instruments”の9.4 “IOSTATUS”をご覧ください。